

共同編集機能を活用した委員会活動

【対象】 生活委員会（5・6年生）

- 【内容】
- ①朝の挨拶の実態を話し合い、挨拶をする意義を考える。
 - ②挨拶をする意義を、個々がGoogle Jamboardに投稿し、分類する。【共同編集】
 - ③良い挨拶とはどんな挨拶なのかをGoogle Jamboardに投稿し、分類する。【共同編集】
 - ④委員会での取組を考える。

【使用アプリ】 Google Jamboard

【事例紹介】

委員会でも、効率的かつ効果的な話し合いを行うために、共同編集機能を活用した。

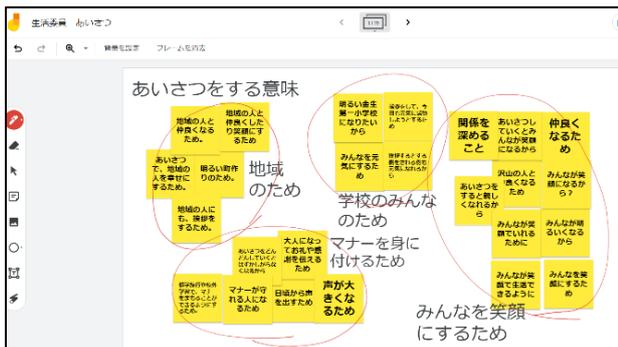
まず、学校全体の課題である挨拶について、全体で実態を話し合った。生活委員会の児童は毎朝挨拶運動をしているので、声が小さいことや、少し元気がないことなどが報告された。

次に、それぞれの児童が挨拶をする意義を考え、Google Jamboardに投稿した。その際、共有をかけて、共同編集機能を活用して取り組んだ。

そして、全体で分類をして、「学校のみみんなのため」「地域の人のため」「自分たちがマナーを身に付けるため」「笑顔を増やすため」という目的を共有した。

また、良い挨拶とはどんな挨拶なのかを、それぞれの児童がGoogle Jamboardに投稿し、共同編集機能を活用して意見を出し合った。

最後に分類した結果を基に、今後の委員会での取組を考えた。



【解説】 委員会活動においては、話し合いの時間を活性化させて、児童自身の目的意識を向上させる必要がある。そこで、共有をかけた Google Jamboard を活用し、「情報の収集」と「整理・分析」を効率的に行った。共同編集機能を活用することで、個々の考えを分類・統合させることができ、自分たちの取組を見直す良い機会となった。また、話し合いの時間を短縮することで、児童の活動時間も確保することができた。

☆教育委員会指導主事より☆ 委員会活動での話し合いをより深めるために Jamboard を活用した事例の報告です。最近の報告にもありましたが、ICT の授業以外での活用が進んでいるようです。考えをまとめる場面としては「個人」や「グループ」などがありますが、個人の考えを深めるときだけでなく、データ連携により「個人」の活動を「グループ」の活動につなげていくこともできます。いろいろな方法が考えられますが、それぞれの場面の目的を果たすために適した方法は何か、研究を続けていただければありがたいです。